

# 京都アニメーション火災をうけて

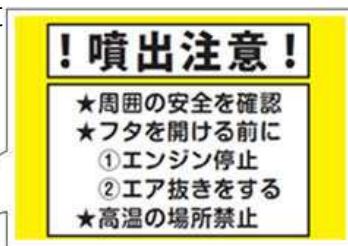
7月18日に京都府京都市伏見区の京都アニメーションにおいて死者35名、負傷者34名の極めて重大な人的被害を伴う爆発火災が発生し、放火による火災では平成以降で最多の死者が発生する惨事となりました。この甚大な被害の原因としてガソリンの揮発による爆燃現象が挙げられています。ガソリンは揮発性が極めて高い燃焼物質であるため、日頃の取扱いや保管方法には十分な注意が必要です。

## ガソリンの危険性について

万が一ガソリンに引火してしまったら、【爆燃現象】と言われる爆発的な火災が発生します。爆燃現象とは、バックドラフトやフラッシュオーバーともいわれ、空気中に充満した引火性ガスに火がつくことにより、爆発的な燃焼が発生する現象のことです。ガソリンは、揮発性が極めて高く、気温が-40℃でも気化します。爆燃現象が発生すると炎は一気に燃え広がるため、逃げる間もなく、とても危険です。

## ガソリンを保管する時には

- ・ガソリンの蒸気が流出しないように、容器は必ず密栓しましょう。
- ・長期間の保管は容器内の圧力が上がる危険がありますのでやめましょう。
- ・消防法令に適合した金属製の携行缶で保管しましょう。
- ・セルフスタンドでは利用者が自ら携行缶に給油することは出来ません。必ず店員に給油を依頼してください。



## 給油取扱所へ注意喚起を実施！！

消防本部では、町内2カ所の給油取扱所にガソリンの詰替え販売時の注意喚起を実施しました。詰替え販売をする場合には消防法令に適合した容器を用いることはもちろんのこと、購入者への使用用途の問いかけと販売記録の作成の協力を依頼しました。

